

令和 7 年 7 月 23 日

自由民主党総裁 石破 茂 様

都議会自由民主党

幹事長 小松大祐

## 要 請 書

世界情勢が低迷し、物価高騰が長期化する中、国民生活は日々厳しさを増しており、若年層や働き盛り世代を中心に、自民党は暮らしの改善策と日本の将来像を十分に示していないとの不信が広がっている。

第 27 回参議院選挙では改選 52 議席のところ 39 議席にとどまり、結果として衆参両院で過半数を維持できない事態となった。相次ぐ大型選挙での敗北は、従来型の発想と体制では国民の期待に応えられないという厳しい警告である。

衆参ともに自公過半数体制が崩れた今、今後の国会運営のあり方、そして次の選挙を見据えた組織体制の見直しが急務である。そして、いま求められているのは、生活防衛と成長戦略を結びつけ、若年・現役世代に希望ある将来像を提示する「新たな自民党」への抜本的な体制の刷新である。

自民党が自らを立て直し、国民の声に根ざした具体的な政策を打ち出すことこそ、責任ある国会運営と次期選挙での信頼回復につながる道である。東京から国政与党を支えてきた誇りと責任のある都議会自民党は、自民党の大胆な刷新に向けた速やかな決断を強く要請するものである。